



# 金井中だより



〒952-1208 新潟県佐渡市金井新保乙40番地 TEL 0259-63-4107  
E-mail kanai-js@sado.ed.jp http://kanai-js.sado.ed.jp/

## 急行で 一気に加速 G I G A列車

校長 香遠 正浩

文化祭「ふれ愛発表会」は今年も半日日程としましたが、1学期から練習を重ねてきた各学級の合唱は予定どおり披露させていただきました。全員の心を一つにして会場に響き渡った歌声は、聴く者の胸を熱くさせました。中でも3年生は「合唱の金井」の名に恥じない素晴らしい出来映えを下級生に示してくれました。保護者の皆様には「ふれ愛親子川柳」等にもご協力いただき、ありがとうございました。

拙作「急行で 一気に加速 G I G A列車」は、当校の現状を川柳にしたものです。

実際、休校を機に当校のタブレット活用は一気に加速しました。各教科の授業でも様々な場面で活用されています。例えば、右写真は英語の授業でタブレットに向かって即興表現の練習をしているところです。相手に面と向かって英語で話すのは緊張したり恥ずかしさがあったりしますが、機械相手であればその心配がありません。しかも録音をしているので、再生して自ら確認できるという良さもあります。



便利な反面、タブレットの使用には不安を感じている保護者もおられると思います。一番はネットトラブルやネット依存だと思います。インターネットやオンラインゲームの使い方については定期的に指導することが大切です。

先月実施した情報モラル講演会では、次のような感想を書いた生徒がいました。

自由に使える自分用の通信機器を持っていて、話の中に自分と似ているところがいくつかありました。前までゲームやYouTubeなどを毎日2～3時間利用しないと気がすまないような感じでした。なので、ユミさん（登場人物）と似ているなと思い、ユミさんの気持ちは分かります。

ですが、メディア時間を少しでも減らそうと思い、今ではだいぶ制限することができています。今思うと、勉強や友達との時間をもっと大切にしていればよかったと思っています。いろいろなトラブルを起こさないためにも、メディア時間を減らし、他の時間も大切にしていきたいと思っています。

(3年生)

ご家庭でもお子さんのネット機器の使い方について、時々点検してください。

## 思考力を高める授業②

中学校では、今年度から「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指す新学習指導要領が全面実施となっています。そこでは知識や技能の習得だけでなく、思考力や表現力の育成も求めています。当校では思考力や表現力を高めるために計画的に研修を進めています。2学期前半に行った5つの研究授業について概要を紹介します。

### 金子教諭 2B 数学「1次関数」(9月7日)

1次関数の導入の時間に、「右の事象は比例かどうか」という学習課題を設定し、班で話し合わせました。

ある班は、この事象を表に書いて調べ、「1分間にたまる量が一定であることは比例と共通しているが、 $x$ が2倍、3倍…となった時、 $y$ が2倍、3倍…とならないことが相違点である」とまとめました。

式やグラフに着目し、比例との相違点を見つけた班もありました。

4 cmの高さまでお湯がたまった浴槽がある。  
1分間で3 cmの高さまでたまるとき、 $x$ 分間で底から水面までの高さが $y$  cmになるとする。

### 市橋教諭 3B 国語「人工知能と未来」(9月15日)

前の時間までに人工知能に関する右の2つの文章の内容理解、内容の比較、共通点と相違点の確認をしてきました。

この時間は、人工知能が普及する時代を生きていくために大切なことについて考えさせました。生徒は人工知能に対する自分の立場を明らかにした上で、2つの文章や友達の意見を参考にし、自分の考えをより明確にしたり、修正したりしていました。

人間と人工知能と  
松原 創 性 仁  
人工知能との未来  
羽生 善 治 来

### 梶原教諭 1A 数学「1次方程式」(9月29日)

小数や分数を含む1次方程式を解く方法を考え、説明させるために聞き手の生徒に「なにを?」「どうして?」「だから?」など8種類のカードを持たせ、ペアの説明に対して3枚以上提示し、詳しい説明を求めさせました。これにより、生徒は等式の性質を基に「整数にするために」「両辺に」「10倍して」「移項して」などの具体的な言葉を付け加えて論理的に丁寧に説明していました。

$$(1) 0.1x + 0.7 = 1.6$$

$$(2) 0.25x = 0.2x - 0.1$$

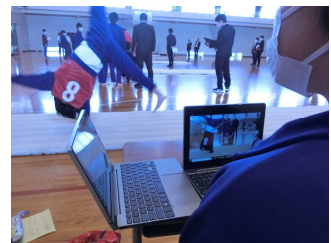
$$(3) \frac{1}{2}x = \frac{2}{5}x - 1$$

### 宗村教諭 2A 保健体育「マット運動」(10月20日)

側方倒立回転の課題を生徒自ら解決するために、タブレットで撮影させ、班内で助言するよう指示しました。

生徒は録画映像を見たり、班員からの助言や拍手をもらったりして改善点を意識しながら、一生懸命に練習し、技能を向上させました。

そして「最初にマットをけることを意識したら、ひざを曲げないで回ることができるようになった」などと上達を実感していました。



### 山崎教諭 2A 国語「字のない葉書」(10月25日)

「字のない葉書」は「私」(筆者の向田邦子)が30年以上経過した過去の出来事を回想するかたちで書かれた随筆です。

単元終末のこの時間は、父親に対する今の『私』の思いについて「主張」「根拠」「理由付け」の3つの観点から書かせました。

その後、班内で交流させることで、どの班も「父は不器用だけど家族思い」という主張を読み取り、適切にまとめることができました。



# 思い出に残るふれ愛発表会

生徒会担当 鍛冶山 凌

今年の生徒会本部企画は、生徒の声を取り入れたり、1人1台タブレットを活用したりと例年からアップデートしたものとなりました。

初めて企画内容を考える話合いをした際、クイズ以外に個人やクラスごとの出し物も挙がりました。それぞれの企画のメリット・デメリットを考えた後、何を大切にしたいかを本部役員で詰めていったところ、『全校生徒が楽しめること』『活動の中で仲間と協力し合う機会があること』の2つが挙がりました。このことから、全校生徒が楽しむことができ、活動の中で仲間と協力し合う機会を設けたクイズを企画することとなりました。クイズのあり方考える段階では、「問題の難易度を揃えるために、同じ問題に全学級が挑戦した方がよい」、「音楽を流し、曲名当てクイズをすると面白くなると思う」等の内容をより良くする意見が挙がりました。また、スクリーン上に表示する問題を作成する段階では、生徒がタブレットPCを使い、パワーポイントの共同編集機能でスライドを作成しました。

本部役員の生徒が一生懸命準備してくれたおかげで、ふれ愛発表会後に行った生徒アンケートでは、生徒会企画を楽しむことができたという回答した生徒の割合が約97%となりました。思い出に残るふれ愛発表会を創り上げた生徒たちに心から感謝したいと思います。お疲れ様でした！そして、ありがとう！



## 元気エネルギー全開

ふれ愛発表会実行委員長 菊地 彩花

今年も新型コロナウイルスの影響で半日開催となってしまいましたが、ふれ愛発表会を無事に終えることができ、実行委員長として本当にホッとしています。

今年のふれ愛発表会のスローガンは「歌力発電」でした。当日は、元気あふれる歌声や生徒会企画のクイズ、吹奏楽部の演奏、一生懸命に作り上げた作品から私たちK中生のエネルギーを見に来てくださった方々にしっかり届けることができたと思います。全校の皆さん、今までの合唱練習、作品制作など、本当にお疲れ様でした。

最後になりますが、お忙しい中、ふれ愛発表会においでくださった保護者、地域の皆様、ありがとうございました。コロナ禍のため参観できなかった方もいらっしゃると思いますが、これからもK中生の元気エネルギーを地域へ届けていきますので、応援をよろしくお願いいたします。

# 合唱の喜び

音楽担当 村川 比奈子

今年度も無事合唱コンクールが開催できたことが、本当に嬉しいことであり感謝しております。

1学期後半から実行委員会が立ち上がり、選曲、伴奏者決め、リーダー決め、並び決め、音取り、と準備が始まりました。

ピアノ伴奏を引き受けた生徒は、夏休み中一生懸命練習し、2学期に備えてくれました。そのおかげで、早くから指揮と歌、伴奏で合わせて練習することができました。

合唱コンクールを終えるといつもなるほど、と思う言葉があります。「練習は嘘をつかない」。練習が始まった頃の姿を思い出してみると、そう思います。音が外れる、最初に間違っただけで覚えた癖がなかなか直らない、声が出ない、息が続かない等々。「出来ない」「無理」「面倒」と思っているのはそこまで。「どうしたら出来る?」「どうすればいい?」と試行錯誤して行動すれば変化がおこる。合唱は、さらにパート内で、そして全体でバランスや気持ちまで揃える必要があります。目標に向かって頑張った分、頑張ったことを仲間と共感できた分、喜びは大きい。そんな合唱が聴けたことに感謝です。



## <審査結果>

最優秀賞：3年B組「結」

優秀賞：2年A組「旅立ちの時」

優良賞：3年A組「YELL」

# 私を本気にさせた合唱

合唱コンクール実行委員長 猪羽 李幸

私は1年生の時に合唱コンクール実行委員になったことがありましたが、その時の仕事がすごく大変で、本当はもうやりたくないと思っていました。しかし、学級で合唱実行委員に推薦され、今年が最後だと考えるとやっぱり合唱だけでも頑張りたいと思いました。

実行委員の仕事はやはり大変でした。しかし、クラスのみんながだんだん合唱に本気になるのを見て、私も委員になったからにはやるしかないと思いました。最初は嫌だった実行委員の仕事もみんなのやる気と本気の努力を目の当たりにしたおかげでやり遂げられたと思いました。最後はとても楽しくできたのでよかったです。

## ~~~~~生徒の活躍の記録~~~~~

○第18回佐渡市美術展覧会 (10/9)

<第4部門 書道> ・奨励賞 1年：高橋 翔太

<ジュニアの部 書道部門> ・市長賞 1年：渡邊 花観

・教育長賞 1年：渡部 雛

○令和3年度読書感想文コンクール (佐渡地区) (10/13)

<自由読 1年> ・3席 佐野 凜羽 「私の生き方」

・3席 筒井 結香 「お探し物は図書室まで」

<自由読 2年> ・3席 小野 百恵 「家族」

<自由読 3年> ・3席 山城 さくら 「今、できることから」